

2019年3月期 通期決算概要

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2019年5月14日

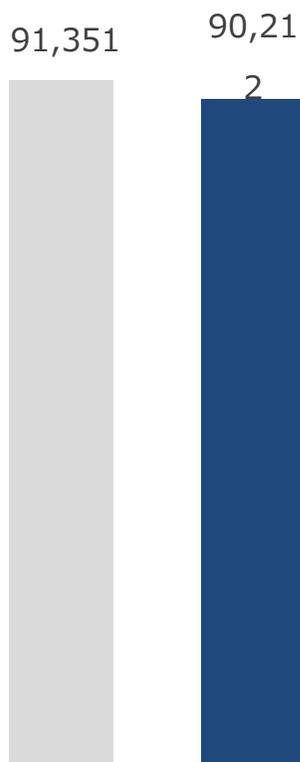


2019年3月期 連結業績実績

売上高

90,212百万円
前年同期比
△1,139百万円

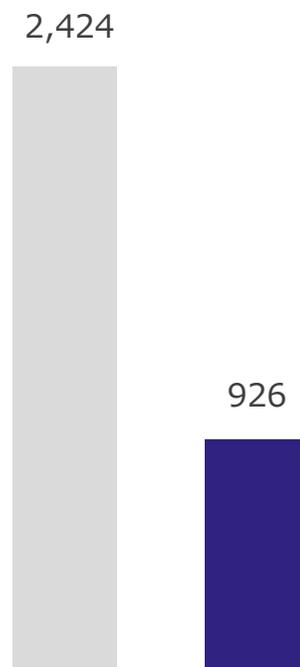
(単位：百万円)



■ 2018/3期 ■ 2019/3期

営業利益

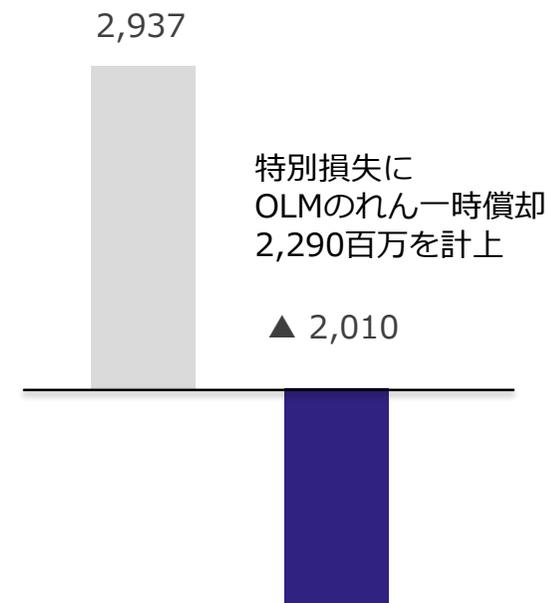
926百万円
前年同期比
△1,497百万円



■ 2018/3期 ■ 2019/3期

親会社株主に 帰属する当期純利益

△ **2,010**百万円
前年同期比
△4,948百万円

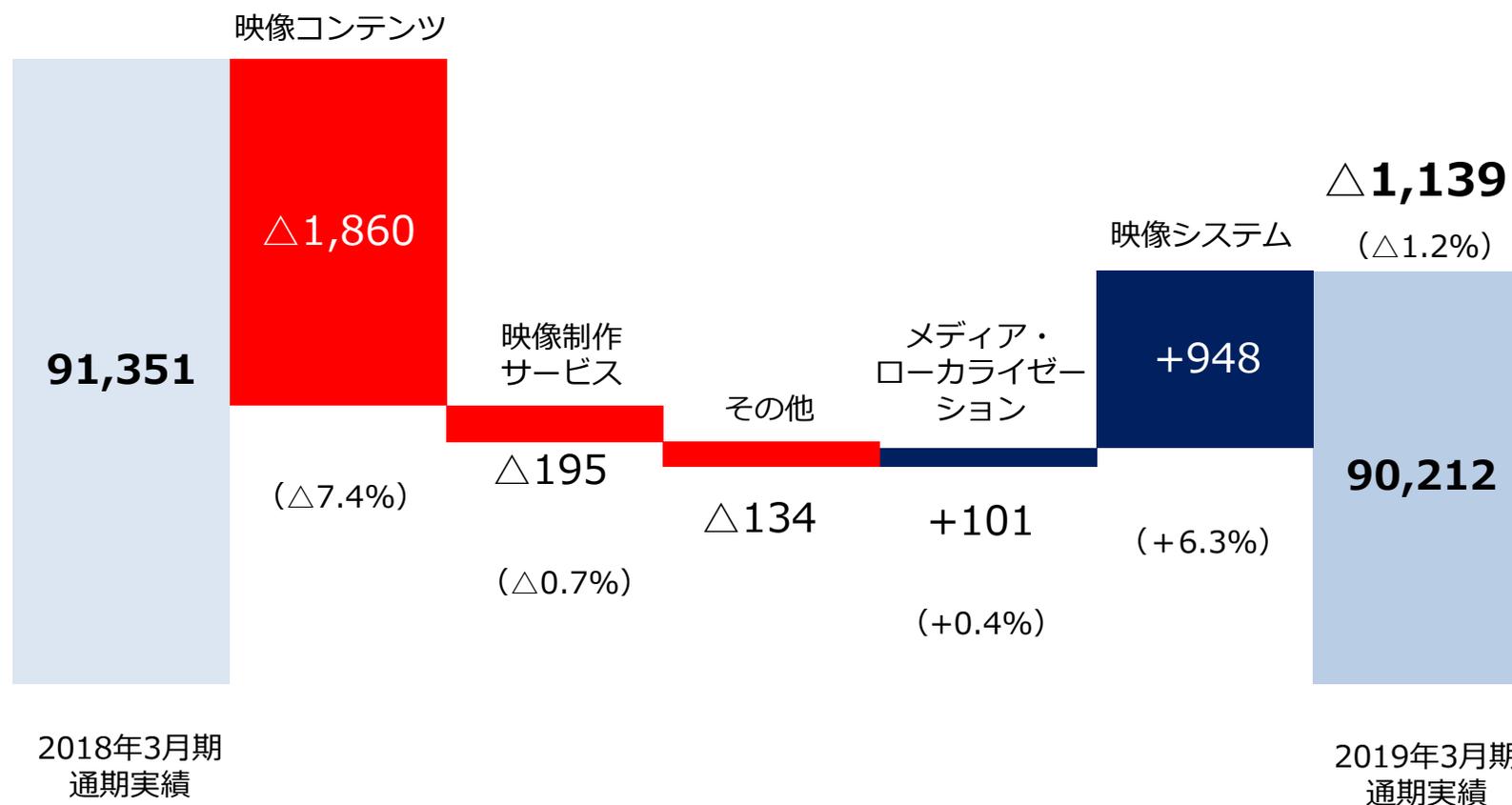


■ 2018/3期 ■ 2019/3期

売上高 前年比増減要因

映像システムとメディア・ローカライゼーションは増収。全体では前年比1.2%の減収。

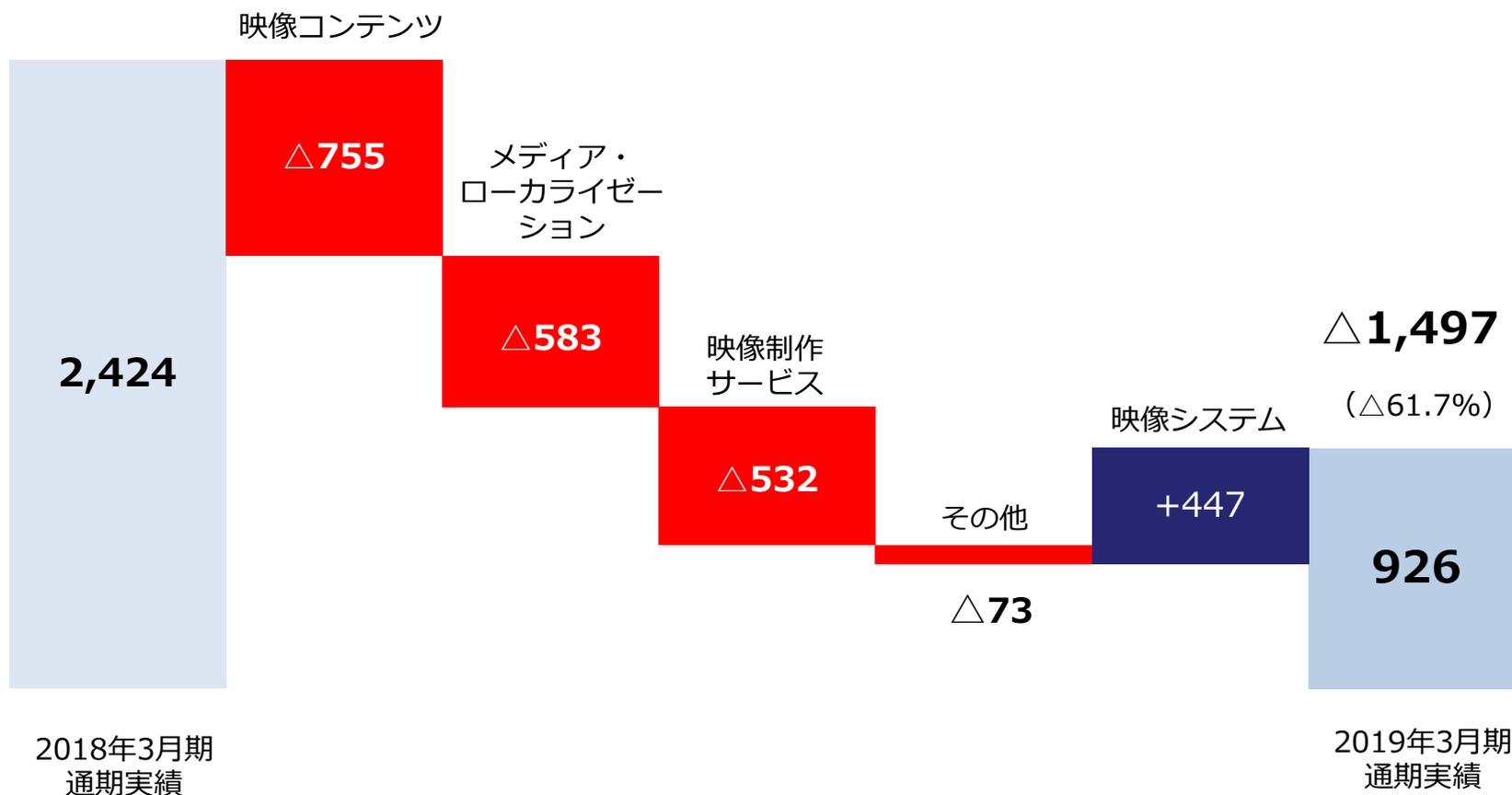
(単位：百万円)



営業利益 前年比増減要因

映像システム以外の3セグメントで減益

(単位：百万円)



セグメント別実績（前年比）

(単位：百万円)		2018年3月期 実績	2019年3月期			分析
			実績	前年比増減	前年比増減率	
映像コンテンツ 事業	売上高	25,289	23,429	△1,860	△7.4%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ TVCM制作、プロジェクションマッピングなど好調だが、大型劇場実写映画が前年比減 ▶ アニメ作品（劇場版、一部TVシリーズ、フルCG作品）の制作コストが増加
	営業利益 (営業利益率)	799 (3.2%)	43 (0.2%)	△756	△94.6%	
映像制作サービス 事業	売上高	27,725	27,529	△195	△0.7%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ TVアニメ向けポストプロとIT系人材サービス、気象関連情報サービスは好調に推移 ▶ 働き方改革対応のため作業体制変更に取り組むTV番組向けポストプロ事業は減収減益
	営業利益 (営業利益率)	1,209 (4.4%)	677 (2.5%)	△532	△44.0%	
メディア・ローカ ライゼーション 事業	売上高	24,814	24,916	101	0.4%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 欧州でのローカライズサービスは順調 ▶ 市場環境の変化により米州、アジアでは前年比減収だが、第4四半期で米州は予想より収益改善
	営業利益 (営業利益率)	△ 674 (---%)	△ 1,257 (---%)	△583	-	
映像システム 事業	売上高	14,997	15,946	949	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> ▶ イメージング分野は国内堅調 ▶ プロ用映像機器は放送局向け販売が想定を超えて順調 ▶ 中国向け映像・画像用LSIの出荷好調
	営業利益 (営業利益率)	1,449 (9.7%)	1,896 (11.9%)	447	30.9%	
その他（連結調整）	売上高	△1,475	△1,609	△134	-	
	営業利益	△360	△433	△73	-	
連結合計	売上高	91,351	90,212	△1,139	△1.2%	
	営業利益	2,424	926	△1,498	△61.7%	

連結損益計算書

(単位：百万円)	2018年3月期		2019年3月期	
	通期実績	通期実績	前年増減額	前年増減比
売上高	91,351	90,212	△1,139	△1.2%
売上総利益	24,122	23,617	△505	△2.1%
(売上総利益率)	(26.4%)	(26.2%)		
営業利益	2,424	926	△1,497	△61.8%
(営業利益率)	(2.7%)	(1.0%)		
経常利益	2,424	789	△1,635	△67.5%
(経常利益率)	(2.7%)	(0.9%)		
特別利益	2,285	391	△1,894	△82.9%
特別損失	352	2,876	2,523	715.6%
税金等調整前四半期純利益	4,357	△1,695	△6,052	△138.9%
当社株主に帰属する四半期純利益	2,937	△2,010	△4,948	△168.5%
(参考)のれん等償却前営業利益	3,878	2,469	△1,409	△36.3%

のれん等償却前営業利益 = 営業利益 + のれん償却 + 商標権他無形固定資産償却

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2018年3月期末	2019年3月期末	前期比	主な増減要因	
資産の部	流動資産	39,661	40,119	458	現預金△5,052 受取手形&売掛金628 たな卸資産3,320 その他1,562	
	うち現預金	11,131	6,079	△5,052		
	固定資産	30,868	24,606	△6,262	のれん△3,486 投資有価証券△1,656 関連会社株式△308 繰延税金資産352	
	うちのれん	7,255	3,769	△3,486		
資産合計		70,529	64,725	△5,803		
負債・純資産の部	流動負債	23,894	26,712	2,818	支払手形&買掛金868 短期借入金392 前受金2,791 その他△909	
	うち短期借入金	4,982	5,375	392		
	固定負債	13,656	10,115	△3,541	長期借入金△2,721 繰延税金負債△518 長期未払金△284	
	うち長期借入金	8,891	6,169	△2,721		
	負債合計		37,551	36,828	△723	
	株主資本		28,184	24,857	△3,327	(参考) 自己資本
	その他包括利益累計額		1,241	292	△948	2018年3月期末 29,425 (38.9%)
	非支配株主持分		3,552	2,747	△804	2019年3月期末 25,150 (41.7%)
純資産合計		32,978	27,897	△5,080		
負債純資産合計		70,529	64,725	△5,803		
ネットデット		2,742	5,465	2,723	(長短期借入金－現預金)	

連結キャッシュフロー計算書

	2018年3月期	2019年3月期
税金等調整前当期純利益又は純損失 (△)	4,357	△1,695
減価償却費	2,719	2,887
のれん償却費	883	3,220
関係会社株式売却損益 (△は益)	△2,177	247
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,647	△3,399
前受金の増減額 (△は減少)	△286	2,474
法人税等の支払額	△2,032	△1,197
その他	△950	△2,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,161	117
有形固定資産の取得による支出	△1,359	△1,177
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,497	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	2,941	-
その他	△336	△243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,251	△1,420
長期借入れによる収入	2,748	-
長期借入金の返済による支出	△2,230	△2,490
自己株式の取得による支出	-	△512
その他	△1,007	△758
財務活動によるキャッシュ・フロー	△489	△3,760
現金および現金同等物の増減額 (△は減少)	2,415	△5,064
現金および現金同等物の期末残高	11,131	6,067

2020年3月期 連結業績予想

2020年3月期 連結業績予想

- ✓ 売上高、営業利益、経常利益とも増収、増益予想
- ✓ 当期純利益は前年比38億円増（特別利益に固定資産売却益を計上予定）

(百万円)	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期		
	実績	実績	予想	前年増減額	前年増減比
売上高	91,351	90,212	95,000	4,788	5.3%
営業利益	2,424	926	1,680	754	81.4%
(営業利益率)	(2.7%)	(1.0%)	(1.8%)		
経常利益	2,424	789	1,200	411	52.0%
親会社株主に帰属する当期純利益（損失）	2,937	△ 2,010	1,800	3,810	—
1株当たり当期純利益（損失）（円）	65.98	△ 45.55	40.86	86.41	—

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項の一つと位置づけ、配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本とし、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたします。

	親会社に帰属する 当期純利益(注)	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2020年3月期予想	1,800百万円	40.86円	5円	12.2%

<注記>

* 固定資産売却益を特別利益に計上

: 2019年3月8日付「固定資産の譲渡に関するお知らせ」で公表済みの固定資産譲渡に伴い、2020年3月期第1四半期決算において固定資産売却益を特別利益に計上する予定です。

Appendix.

2019年3月期 主なグループTOPICS-1

2018/4/20 フォトロン

簡易モーションキャプチャシステム『6D-MARKER Analyst』発売



2018/4/25 ピクス

オリジナルTVアニメ「スペースバグ」 TOKYO MXにて 7月8日より放送決定



© W.BABA&TMS

2018/5/25 IMAGICA Lab.

第22回 JPPA AWARDS 2018 一般部門にて『絶景につぼん月の夜』で「音響技術部門グランプリ」受賞



2018/5/30 SDI Media

ローマでレコーディングとミキシングルームを備えたダビング・スタジオを拡張



2018/9/18 ROBOT

ドラえもんブロックくずしゲーム『ちょいちょいドラえもん』をサービス開始



©Fujiko-Pro / ©ROBOT

2018/10/1 IMAGICA Lab.

IMAGICA、IMAGICA ウェストとIMAGICA イメージワークス合併株式会社IMAGICA Lab.に



2018/10/25 ピクス

P.I.C.S.企画・制作による“経済的に正しい”ロボットヒーロー物語「ブルバスター」書籍化決定！



2018/10/31 OLM

株式会社オー・エル・エム・ベンチャーズ 出資約束金額約14億円でOLM 1号ファンドの組成完了



2019年3月期 主なグループTOPICS-2

2018/11/12 ウェザーマップ

「Yahoo!天気・災害」へ独自気象情報の提供を開始



YAHOO! 天気・災害
JAPAN

2018/11/15 フォトロン

高性能・小型軽量密閉筐体、ハイエンド・コンパクト高速度カメラ『FASTCAM Nova シリーズ』新発売



2018/11/17 ピクス&イマジカデジタルスケープ

次世代の若手クリエイターを対象とした映像制作の登竜門、東京国際プロジェクトマッピングアワードVol.3開催



2018/11/28 IMAGICA GROUP

コンピュータグラフィックス国際会議 SIGGRAPH Asia 2018 に出展



2019/1/11 IMAGICA Lab.

グループ内ベンチャー制度第1号としてデジタル映像会社「IMAGICA IRIS」設立



IMAGICA IRIS

2019/2/14 SDI Media

世界初の吹替業界に特化した人材マッチングアプリ「Produb」を開発



2019/3/5 フォトロン

自動車衝突安全試験用 高速度カメラ『FASTCAM MH6』を新発売



2019/3/28 IMAGICA GROUP

米映像企業Pixelogic Holdings, LLCの増資引受による株式取得を決定



お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP 企画部

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル11階

T E L : 03-6741-5742 F A X : 03-6741-5752

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。